

平成29年 第14回（定例会）

## 厚真町教育委員会会議録

### 1 開会

平成29年11月30日（木）午後2時34分

### 2 閉会

平成29年11月30日（金）午後5時00分

### 3 出席委員の氏名

遠藤 秀明 佐藤 泰夫 伴 俊行 長門 茂明 金光 えり

### 4 委員及び傍聴人以外の会議出席者氏名

生涯学習課長 沼田 和男 生涯学習課参事 伊藤 文彦

【書記】学校教育G主幹 木戸 達也

### 5 会議録署名委員の指名

（ 佐藤 泰夫 ）

（ 金光 えり ）

### 6 教育長報告

（1）行事参加等の動向 （資料1）

【質疑なし】

（2）平成28年度決算審査特別委員会 11月17日 （資料2）

【質疑】

遠藤教育長：平成28年度決算審査特別委員会について説明がありました。何かお聞きになりたいことがあればお願いします。

伴委員：6ページに給食のレシピを紹介して欲しいという質問があるが、この質問の意図は何なのか。

沼田課長：この部分については、社会教育グループで保護者が集まる機会があり、給食のレシピを紹介して欲しいという意見を、質問した議員もその場にいたので、その関係で質問したと思う。質問はレシピを紹介して欲しいという質問から入ったが、それに対して回答を求めるといった内容ではなかった。私にもこの質問の意図はよくわからなかった。

伴委員：私も質問に対する回答になっていないので疑問に思った。

遠藤教育長：いい意味でとらえれば、献立はお知らせしているので、作り方も紹介すると家庭でもそ

れを意識して作る。子どもが「給食おいしかった」と言ったものを、親はそれを作ってあげることができるという意図があるのかもしれない。現在、厚真町のフェイスブックの中では食材などを毎日掲載しているが作り方までは公開していない。

沼田課長 : 決算審査前に4校の校長、養護教諭が入った献立会議があり、その中で、「厚真町の給食はおいしい。レシピを公開しては」という意見が出ていた。給食だよりなどでレシピを公開していくような形で検討しますという話をした。

## 7 所管報告

### 学校教育グループ

(1) 厚真町英語教育研究大会 (11月27日、厚真中央小学校) (資料3)

#### 【質疑】

遠藤教育長 : 厚真町英語教育研究大会について報告させてもらったが、これについて何かあればお願いします。

伴委員 : 午後の部は参加できなかったが、午前の部に参加して感じたことを話させてもらう。子どもが頑張っている姿を見ることができた。先生の頑張りが子どもたちにも伝わっていたので、私もよい刺激をもらったと思っている。研究大会に町外から来た先生方がどのような感想を持たれたのか、わかるのであれば教えて欲しい。

また、気になったのは、小学校の1時間の授業時間は45分で中学校は50分であるが、体育館で公開した授業は120分くらいの長い授業であった。中学生が小学生をカバーしたりしていたので内容的には良いと思うが、多くの参観者がいる中で子どもたちはどうだったのか、集中力は維持できたのか、見られているという心的負担が心配であった。

遠藤教育長 : 分科会については、厚真町の英語教育が他の町から比べると少しリードしているだろうとご覧になっている方が多い。もしくは、厚真町より同等以上の活動をしているが、今後、迎えるべき次期学習指導要領の対応を視野に入れながら研究大会に参加した方もいると思う。一部日高管内から来ていたがほとんどが胆振管内からの参加者であった。本町の取り組みを参考にしようとする参加者が多かったのではないかと考えている。

分科会の助言者から、授業における指導の中身について、子どもたちにとっての必然性を押さえることが一部指摘されていた。直山先生の講演では1時間30分を予定していたが、いつもそうであるが、その3分の2は厚真町の公開授業に対する講評である。普通は講演の中ではありえない。先生も本町が6年間英語教育に取り組んでいる期待もあるし、国としてもしっかりと広めたいという思いもあるのではないかと考えている。

小学5年生と中学3年生が行っていたコミュニケーション活動というのは、いつも行っている授業ではなく集大成という形で2時間程度行っている。指導案では、小学5年生はコミュニケーション科の入り口になる学年であるから、その子どもたちに合わせたコミュニケーション活動をしたい、また中学3年であれば小学生への配慮ができるという意味合いをもって行ったが、実態はどうであったかということ、小学生の質問攻勢に

中学生はたじたじの状態になっていたもので、それならば、もっと中学生は頑張っ欲しいというのが直山先生の指摘であった。

小学5年と中学3年で行ったことのねらいについては、小学5年生がコミュニケーション科の入口で、中学生3年生がその出口なので、小学5年生に自分たちの出口を見せてあげたい、いい意味で見てほしいという意味合いもある。

いろいろな要素を含んだ取り組みであったと私は思っているもので、3年に1回の公開研究大会であるが、いろいろな指摘を受けて、今後新たな指導に生かせるという意味では効果が大きかったと思っている。

金光委員 : 支援員として他の教室に入っていたので、他の公開授業をみることはできなかったが、現在の6年生が5年生であったときに、今年行った内容のことを厚真中学校で昨年行った。その時には見ていたが、5年生が今の力だめしのように取り組み、中学生は受けてくれる側で、大変良い交流授業であったと感じた。小学5年生の中には英語が得意な子どもがいて、中学3年生でも苦手な子どももいるので、そのような場面になったときに、中学3年生がばつが悪そうなところも見受けられた。しかし、小学生が中学生とALTとの間で会話が弾んでいるところをみた時、中学生のすごさを感じられるのではないかとと思っている。

今回のこの活動はどうしても、小学生の方が主体となっても仕方がないような気がする。

遠藤教育長 : こういう授業形態は、コミュニケーション科がそれぞれの教育課程を少し変化させて、小学校、中学校でもない一つのカリキュラムであるという組み方であるので、まさに一貫教育の一つの形である。

私は厚真町の英語教育や学力向上、一貫教育への進め方というのは、現場には無理をかけているが、まっさらな状態でスタートするのではなくて、これまで取り組んできたものを土台に進めていけるような気がしている。今回の研究大会を機に、英語についてはより伸長していけるのではないかとと思っている。

伴委員 : 私が思ったのは、子どもたちの心的な疲労はどうなのかということ。休憩時間をとったとしても、みんなから見られている中で120分という時間はどうかということである。中身は言われるとおりでと思うが、120分という時間を割く必要があったのかと感じる。そこが気になった。子どもたちの精神状態や健康状態を考えた中でやっていくべきものではないかと思う。内容的には問題はないが時間的なものに問題があると感じた。

普段の形態ではない授業を行っているわけだから、子どもたちの感想はどのようなものであったか聞いてみたい。今後の授業形態を作るうえで、また、小中一貫の教育を進める上で必要なものであると思う。その部分を含めて検討した方がよいと感じている。

沼田課長 : 時間の部分については、伴委員がおっしゃるとおり、午前9時30分から午前11時20分までの110分で、20分の休憩を入れているので、45分の授業が2コマの公開授業であった。

伴委員 : 普段の授業と違い多くの参観者がいるので、緊張感が半端なものではない。自分もみさせてもらったが、生徒と児童が1対1でやりとりしている姿を傍によって聴いているので、子どもたちは大変疲労すると思う。

金光委員 : 昨年の研究大会は、何カ所にも場所が分かれていたので、参観者はあまりいなかった。5年生は今年と同じく2コマの授業であったと思うがあまり長い時間だったと感じていないようだった。今回はたくさんの参観者の目がある中での授業であったので、昨年の研究大会の時とは状況が違っていたと想像がつく。

伴委員 : 子どもたちは大変であったと感じた。

佐藤職務代理 : 場所も教室ではなく体育館で行ったので環境も随分と違ったかもしれない。

遠藤教育長 : 授業参観されるのは慣れていると思うが、研究大会は特別な状況であったと思う。英語教育推進委員会の中でも、子どもたちに負担のかからない公開の仕方について投げかけてみたい。

佐藤職務代理 : 直山調査官から本町の英語教育を進める上でどのような助言があったのか。

遠藤教育長 : 公開した担当教諭の授業の細部について指導があった。先生方にとっては耳の痛いことも指摘されていた。意欲的な本町の先生がいるからこそ本町の英語教育が成り立っている。指摘されたこともしっかりと受け止めて今後の指導に生かしてくれると思っている。

#### 社会教育グループ

- (1) ハロウィンパーティー／10月27日(金)／総合福祉センター／107名参加
- (2) 厚真町メディア教育講演会／10月27日(水)／総合福祉センター／23名参加  
講師 古野陽一 先生(子どもとメディア常務理事)
- (3) 厚真町文化祭／11月3日(金)、4日(土)／総合福祉センター、総合ケアセンター、青少年センター、厚南会館
- (4) プラネタリウム・リニューアルオープン／  
11月3日(金)／午前53人・午後40人 11月4日(土)／34人  
以降 定期開催 毎週火曜日、土曜日
- (5) 就学時健康診断時「家庭教育セミナー」
  - ① 11月7日(火)／上厚真小学校／12名参加
  - ② 11月10日(金)／厚真中央小学校／24名参加  
講師 上厚真小学校 NPO法人お助けネット代表 中谷通恵さん  
厚真中央小学校 横山生涯学習アドバイザー
- (6) ミニバレーボール・ウインターリーグ／11月26日(日)／スポーツセンター  
参加20チーム 114名

#### 【質疑】

遠藤教育長 : 社会教育グループから6点の報告がありました。何か質問などがありましたらお願いします。

- 伴委員 : プラネタリウムのオープンの件について質問する。人数は普段より多いが町外からの参加もあったのか。
- 伊藤参事 : 町内外の参加者数の内訳までは把握していないが、町外からも来られた方はいる。
- 遠藤教育長 : 火曜・土曜の定期投影日の状況はどのようなものか。
- 伊藤参事 : 減少している。
- 伴委員 : 定期投影日は何時から投影しているのか。
- 伊藤参事 : 火曜日は午後3時30分、土曜日が午後1時30分。放課後教室がない火曜日としている。
- 遠藤教育長 : 投影メニューも多彩と聞いている。
- 伊藤参事 : 現在は児童向けの番組を投影している。また、オリジナル番組も制作できるので、慣れてくれば、オリジナル番組を交えて変化を持たせたい。
- 長門委員 : オープンの際の参加者の子どもと大人の大きな内訳は。
- 伊藤参事 : 親子連れが多かったが、半々もしくは子どもの方が多い状況であった。
- 長門委員 : 定期投影の時間の設定はむずかしいと思うが、例えば、夜の投影は大人向けの番組をしてみると、仕事が終わった成人者の参加者を掘り起こせるのではないかと思う。
- 伊藤参事 : 基本番組は1本で、10～15分の番組が12種類ある。幼児、小学生、大人用という組み合わせができる。
- 長門委員 : 案内段階でターゲットを絞って番組設定をしてもよいと思う。
- 佐藤職務代理 : 興味のあまりない人には映像を交えてアピールしたほうが良いと思う。
- 伴委員 : せっかく良いものが設置されたのだから、たくさんの人に見てもらえればよいと思うので、宣伝活動に力を入れてもらいたい。また、このような設備をもっている町はないので、もっと町外にもPRした方がよい。
- 遠藤教育長 : 本町にとって投影が増えて負担にならない程度に他市町の教育委員会に案内してもよいのではないかと思う。
- 金光委員 : 小学4・5年の理科では月や星の勉強をするので、プラネタリウムは天候や場所、時間を問わないので学習には非常によいと思う。隣町の小学生も同じ時期に学習するので案内してもよいと思う。
- 木戸主幹 : 以前にも隣町の小学校が来ていたが、リニューアルを機会にまた来館する可能性はあると思う。
- 伊藤参事 : 新聞の取材があり掲載されたが、その他でも情報の発信はしていきたい。
- 長門委員 : 家庭教育セミナーの保護者の参加者は、就学予定児童の何%くらいか。
- 木戸主幹 : 上厚真小の入学予定児童数が12人、中央小学校が23人。欠席した児童が1人いたが、ご夫婦で来た方もいるのでほぼ全員参加に近い。

## 8 議案

### 議案第1号 厚真町学校運営協議会規則の制定について

## 【質疑】

遠藤教育長：厚真町学校運営協議会の設置にあたり規則の説明がありました。この規則について質疑をお受けいたします。

遠藤教育長：他の市町において学校運営協議会が既に発足されているところもあるが、本町独自の条項はあるのか。

沼田課長：文部科学省から示されているものや道内の既に設置されている自治体の規則を参考にし、準備委員会の委員の意見を聴きながらまとめたものである。また、協議会の委員については、10人以内とするということで、厚南地区では5人、中央地区では7人の委員が校長から教育委員会へ意見書ということで提出されており、既に承諾を得ている。実際に協議会が動きだすときには、学校教育グループ・社会教育グループの職員が1人ずつ入る。社会教育グループでは小田島主査がコーディネータ的な役割を担い運営協議会で出された要望等について地域学校協働本部や地域などにつなげていく。

佐藤職務代理：運営委員会の開催場所はどこを予定しているのか。

遠藤教育長：基本的には学校で行う。例えば、中央地区の運営協議会は厚真中央小学校と厚真中学校が該当校なので、両学校で開催場所は調整する。

沼田課長：第1回目の会議は、厚南地区は上厚真小学校、中央地区は厚真中学校で開催する。

金光委員：委員の構成であるが、1から8が必ず入るのではなくその中から選ばれるということか。校長が入らないこともあるのか。

沼田課長：校長はすべて入ることになる。中央地区については、2校の校長と学識経験者で厚真高校校長も入っている。厚南地区についても2校の校長は入っている。

遠藤教育長：4小中学校の校長は必ず入ることになる。学校でクリアしなければならないことがあるとき運営協議会に諮るようなものになりたいと思っている。学校を支える協議会として各委員の意見を出し合うものになりたい。この協議会が実践部隊になる場合もあるし、意見として出された方法論を地域学校協働本部や今年度立ち上げたサポート企業などにつなげていければと思う。

今後、動向を見ながら規則の一部改正はあるかもしれないが、スタート時はこの規則でやっていくことを考えている。

佐藤職務代理：第14条に傍聴人について触れているが、広く地域の人に、いつ、どこで運営協議会を開催するのか周知しなければならないと思う。

沼田課長：開催について広く周知するかはまだ決まっていない。

遠藤教育長：積極的に周知するかについてはいろいろとあると思うが、少なくともこの協議会は原則公開という意味である。問い合わせがあれば、開催時期をお知らせし、傍聴を拒むものではなく、原則公開するということである。

佐藤職務代理：開催日時は周知をしなくてはならないと思う。

遠藤教育長：問い合わせがあればお知らせする。また、学校のホームページに掲載するという手法もある。

佐藤職務代理：生涯学習だよりなどで周知しても良いと思う。

遠藤教育長：関心を持って聴いていただけるのであれば良いと思う。傍聴ということなので席上で意見などをすることがあったら退席してもらうことになる。

遠藤教育長：他になければ厚真町学校運営協議会規則について平成29年12月1日からの施行ということで制定を決定してよろしいでしょうか。

全委員：異議なし。

遠藤教育長：議案第1号 厚真町学校運営協議会規則について、原案どおり決定いたしました。

## 9 協議事項

### (1) 平成29年度 全国学力学習状況調査結果の概要について (資料4)

#### 【質疑】

遠藤教育長：教育委員会として、全国学力学習状況調査について参加しており、その結果や取り組みについて毎年地域に示している。説明のあった概要版を町民に公表する予定である。この内容について質問や意見などあればお願いします。

沼田課長：内容について説明させていただいたが、各学校長へも記載内容について確認をしている。記載内容に多少修正があるかもしれないがご承知願いたい。昨年までは町内の各学校の教務主任が入った学力向上推進委員会の中で、公表概要を作成してきたが、本年度については、同委員会から教育委員会で作成してもらいたいという依頼があったので、一部記載している内容も変更している。

遠藤教育長：従来の公表の形を踏襲している。これが子どもたちの姿を象徴しているのではなく、あくまでも今年行った調査結果から見えてきている課題などを学校、教育委員会また地域が共有したいということである。成績結果本位ではないということを皆さんにお伝えしておかないと、単なる子どもへの評価になってしまうことがあるので、全国的にも公表には賛否がある。教育委員会としては、今後の指導にどのように生かしていくかということをおの人にしっかりと伝えていくことである。その根拠となるもののひとつが、町民に示しているこの概要版である。

北海道教育委員会が取りまとめたものについては、11月27日に公表されている。後半の部分については、以前は各学校の取り組みなどについて各学校の教務主任などがまとめていたが、より詳細に各学校における分析に時間を割きたいということで、今回は教育委員会が本町の児童生徒の生活の状況などを概論としてまとめている。

町民に配布する概要版について、この内容で進めるということよろしいでしょうか。

全委員：異議なし。

### (2) 厚真町文化財の所有権移転について (資料5)

#### 【質疑】

遠藤教育長：条例上、所有者を明確にしておかなければ松浦武四郎の碑が老朽化、風化することによ

り維持しなければならない時に手がつけられなくなる状況を避けるため、できるものであれば教育委員会の所有としたいと考えている。きっかけとしては、来年が北海道と命名されて150年となり、その名付け親が松浦武四郎翁であるからである。現存する状態を維持するためにもその所有者を明確にしておいた方が良いと判断した。

12月の委員会で再度、教育委員会が所有することについての決定をいただきたいと考えている。このような進め方で良いでしょうか。

全委員 : 異議なし。

## 10 その他

### (1) 小中学校PTA役員保護者懇談会の開催について

- ・日時 12月7日(木) 午後6時30分
- ・場所 青少年センター2階ホール
- ・参加人数 PTA役員保護者各小中学校5人程度
- ・内容 厚真町における小中一貫教育に向けて

※沼田課長 : 教育総合会議を1月上旬に開催予定をしているので、日程が決定した場合は早目に各委員に連絡をさせていただく。

※木戸主幹 : 前回の教育委員会で伴委員から質問のあった「主幹の教諭の配置基準が緩和されたのではないか」に関して回答させていただく。本年9月に道教委から通知があった。それによると、主幹教諭の配置については、平成21年度から道内の小中学校に配置し、順次配置を拡大している。平成29年度には全道で約200の小・中学校等に配置されている。主幹教諭の配置に係る道教委の考え方については、これまでと変わるものではなく、国の加配教諭の配置基準に基づき、18学級以上の小学校、15学級以上の中学校のほか、学校運営などに課題のある小中学校等へ配置することとしている。

伴委員 : 課題のある学校に配置するということであるが、生活指導等に課題がある場合は、学級数に関係なく配置されるということか。

木戸主幹 : そう読み取れそうであるが、前段の大規模学校であるという基準が前提にあると思う。

伴委員 : 実際200校に配置されているということであるが、中学校で言えば5学級以上の学校があるのは札幌や苫小牧の一部の学校という気がする。

遠藤教育長 : 実態として配置しているのかどうかである。再度、道教委に照会してみてもどうか。

木戸主幹 : 次回の教育委員会で再度回答する。

## 11 次回委員会の開催日程

- ・定例委員会 12月27日(水) 午後2時30分(予定)

※金光委員 : 12月27日は冬休みに入っているため水曜日でも構わないが木曜日開催が都合が

よい。

伴委員 : 絶対ではないが、できれば火曜日か木曜日の開催日としてもらうと都合がよい。

沼田課長 : 平成30年から留意したい。

## 12 閉会

厚真町教育委員会会議規則第18条の規程により署名する

平成 年 月 日

教育長

平成 年 月 日

署名委員

平成 年 月 日

署名委員

平成 年 月 日

生涯学習課長（調製）